

# 内視鏡手術用支援機器を用いる手術の実績及び回復期リハビリテーション病棟の退棟患者の状況

## 内視鏡手術用支援機器を用いる手術の実績（令和7年1月～12月）

腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る）	27件	腹腔鏡下腎悪性腫瘍腫瘍術	5件
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術	0件	腹腔鏡下腎盂形成手術	2件
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	12件	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	33件
腹腔鏡下仙骨腔固定術	6件		

## 回復期リハビリテーション病棟の他棟患者の状況（令和8年1月1日現在）

（単位：人）

		R7.10月	R7.11月	R7.12月
退棟患者数合計		15	14	13
内 訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	10	10	7
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等の状態	3	4	4
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0	0	1
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1	0	0
	股関節又は膝関節の置換術後の状態	1	0	1
	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0	0	0

## リハビリテーション実績指数（R7.7月～R7.12月）

41.18

※リハビリテーション実績指数は、6か月間の退棟患者のリハビリテーション効果を示す指標であり、当院では、回復期リハビリテーション病棟入院料3を算定するため、30以上である必要があります。